



分科会での討議。参加者は比較的女性が多かった。父親としてはぜひ次回に考えて欲しいところである。

心豊かな子を育てるため 親は何をすればよいのだろう

～小須戸町連合PTA研究大会～

十二月二日、小須戸中学校を会場に小須戸町連合PTA主催の「小須戸町P連研究大会」が開催されました。参加者は幼稚園、小学校、中学校の父母百二十人でした。以前から役員だけが参加する広域対象の研修会ではなく、身近なテーマで小須戸の父母が集える研修会を、との要望があったため、今回小須戸町で初めて幼稚園、小学校・中学校の父母が一同に集まる研修会の開催になったものです。

心豊かな子を育てるため 親は何をしたらよいか

親は子に心豊かに健康で育てたいと誰もが望むことでしょう。

しかし近年、そういう子を育てる家庭の教育力は低下したと言われています。そのことは地域の教育力が低下した事も意味している言葉と云えます。

今回の研修会のテーマは、心豊かな子を育てるため親は家庭や地域でどう子どもに関わっていったらよいか、という事でした。研修会は全体集会后、五つの分科会に分かれ、今回の

テーマについてそれぞれ話題提供者、助言者、司会者を中心に話し合いが行われました。

分科会での話し合い

分科会では幼稚園、小学校、中学校の父母を一緒にし、一分科会約二十名で行いました。各分科会で話し合われた内容の一部を紹介します。

◆第一分科会

話題提供者からは、家庭でのしつけは自分の子に厳しく、他人の子にあいまいではないか。

親子と近所の人達との交流が少なく地域での教育力が低い。青少年団体の育成を。

などが主に出され、参加者からは

・他人への依頼心が中学生になっても強すぎる。(少年団指導者)

・人を傷つく事を平気で言う。依頼心の強さは親がつくっているのではないか。行動一つひとつに注文をつけている親。

・少年団に入っても親が顔を出さない。依頼心は親も強い。まとめ 親と子の関わり合いを大切にしよう。子供はたえず親の視線を感じている。成長に応じて子どもを見守る工夫が必要。子供に関わる時間を工夫しよう。

◆第四分科会

話題提供者からは、子は親を見習う。

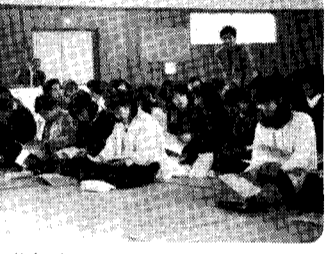
ちよこつと一言 (33)

カレンダールの枚数が少なくなり、なにかと年の瀬が気になります。先日、商店会の仲間達とささやかではありますが、町内一杯に「イルミネーション」を取り付けました。本来の仕事をそっちのけにし、試行錯誤を繰り返しながら、ようやく完成しスイッチを入れた瞬間、なんとも言えない感激がありました。



イルミネーション 本町二 小見健雄さん

親は子ばなれを、子は親ばなれをしなければいけない。みんので一歩前にでる



参加者は120名であった。

親は子ばなれを、子は親ばなれをしなければいけない。みんので一歩前にでる。わずかな時間ではありましたが、自分たちの子どものために現状や問題点、そして今後親は地域は何をしたらよいかを話し合う貴重な時間でありました。今度、子どもの問題を各PTAや親同士で話し合える機会がありました。しかし今回の子ども年代を越え、現状と課題を有識者をまじえてどう克服するのかわからない子になって欲しいと思っている。などの話が出され、参加者からは

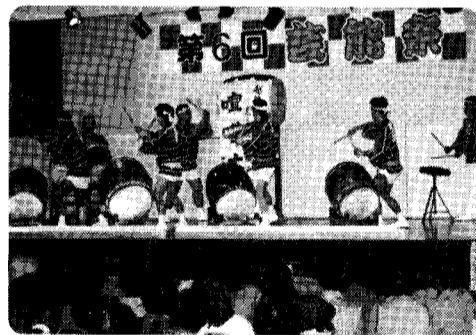
・親の日常生活における実践そのものが子の手本になっている。親の身勝手さを反省しよう。子にすぐ手を挙げて叱る。これでよいかと悩んでいる。主人から「叱られても母さんが一番好きだ」と子どもが言ってきたと言われ、信頼感があれば叱っても大丈夫だと思った。物をこわした子が名乗りでない。見つかれば何をしても良いという大人になったら大変である。

親の日常生活における実践そのものが子の手本になっている。親の身勝手さを反省しよう。子にすぐ手を挙げて叱る。これでよいかと悩んでいる。主人から「叱られても母さんが一番好きだ」と子どもが言ってきたと言われ、信頼感があれば叱っても大丈夫だと思った。物をこわした子が名乗りでない。見つかれば何をしても良いという大人になったら大変である。

第六回芸能祭

喧嘩太鼓が初登場!!

十一月十八日、中央公民館の三階ホールで、第六回を数える芸能祭が開催され、約三百五十人の町民が来場した。天気は上々、二十四団体の参加者ばかりよびり緊張感。それでも開演すると元気いっぱい。会場狭しと唄って踊って会場も拍手がいっぱいだった。



今年も芸能祭に喧嘩太鼓が初登場。一般のみならず披露するのはこれが初めてとあって、みんなが注目威勢がよく、お腹に響いてくるほどだった。参加者も見物者も、みんなが楽しんで

あいさつ標語入選作品

声かけて よい友またまた 一人ふえ

矢代田十一 小林博二さん

第二十一回県ジュニア美術展

県美術館長賞に土田裕之くん

- ＜デザイン部門＞ 小須戸小六年 高山和志 (新保二)
- ＜デザイン部門・優秀賞＞ 矢代田小一年 齊藤智矢(鎌倉)
- ＜デザイン部門・奨励賞＞ 矢代田小二年 新井田香奈 (天ヶ沢二)
- ＜絵画の部・奨励賞＞ 小須戸小六年 横山裕貴(中央町二)
- 小須戸小六年 土田末歩(京町二)
- 小須戸小六年 堀麻由子(うでま)
- ＜男子団体の部＞ 優勝 卓球協会D 準優勝 中学三年A 三位 卓球協会E
- ＜女子団体の部＞ 優勝 卓球協会 準優勝 中学三年A 三位 中学三年B
- ＜個人個人の部＞ 優勝 横山俊樹(天ヶ沢二) 準優勝 長沢富士夫(横川浜) 三位 清水忠夫(若葉町)
- 石井 裕 (蔵町一)
- ＜女子個人の部＞ 優勝 加藤祐美(矢代田一) 準優勝 渡辺富子(矢代田一) 三位 新井田洋子(大川前) 佐藤友子



土田裕之君の作品

90公民館活動を振り返る

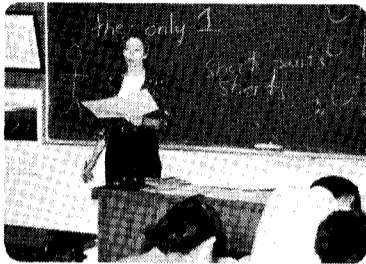
90年も残すところ半月程となりました。この一年間、中央公民館及び各分館は様々な活動を取り組んでまいりました。来年にさらなる飛躍を目指し、今年一年の事業を振り返ってみたいと思います。

家庭教育

◆つくしんぼ(参加者26名)
0才から3才までの子を持つ両親を対象とした新しい教室。講師は多彩な顔ぶれで未知数の子育てについて色々学びました。

◆親子チャレンジ教室(30組)
現在も活動している新しく開設した教室。小学生とその両親を対象に肌づくり、キャンプなど様々な活動を通して親子のふれ合いを高める内容です。

◆あすなろつ子広場(参加者10名)
四才から就学までの子を持つ両親を対象とした教室。親子の活動、子育てを楽しく学びました。



小須戸初、外人講師

◆婦人の活動(参加者総勢100名)
天ヶ沢、鎌倉、矢代田、横川、小向、水田、小須戸に今年も新保が婦人学級を開始。来年も頑張ってください。

成人一般の活動

◆ふくろう講座(参加者40名)
町の色々な事をやってたり知識を持って人から「お話ししてもらおう講座です。」

婦人の活動

◆いきがい講座
年配者を対象とした新しい講座。有識者から年を老いてからの人生をどう生きるか学びます。

文化活動

◆入門教室(参加者10名)
生花教室、陶芸教室、鳥風教室は現在も活動中。社交ダンス教室、民話教室、尺八教室、テニス教室は大変好評でした。参加者の中にはクラブに所属したり新たにクラブを結成したりしています。頑張ってください。

青年の活動

◆ポパイとオリブの海外旅行(参加者20名)
海外旅行に行くあなたの悩みを解消。小須戸初の外国人講師も数人来てくれました。また、女性の参加者が多く次回企画では男性も集まれます。

成人式

◆成人式(参加者120名)
今年も賑やかでした。実行委



親子でケーキづくり



町民祭(来場者100人)

◆町民祭・文化祭(来場者100人)
町民祭は十六回目を数えました。入門教室などで活動している人達が参加するようになり、年々出品数が多くなっています。文化祭は百周年記念の「今昔写真展」「文芸百人展」等盛り上がり、活気ある文化祭でした。

芸能祭(来場者360人)

◆芸能祭(来場者360人)
今年も喧嘩太鼓保存会が初参加。威勢のいい太鼓を聞かせてくれました。来年にも期待します。

視聴覚・広報活動

◆公民館報月一回の発行
◆情報「こすど」年四回発行
◆放送利用講座「狙われる尾瀬の水」外(参加者11名)
◆図書室の夜間開放

分館活動

中央館は町全体の活動を、分館はよりみなさんと密着した活動を行っています。早朝ウォーク、運動会、地域懇談会、映画会、ゲートボール大会、魚つり大会、など様々です。

◆今年一年間、公民館活動にご支援賜わり本当にありがとうございました。公民館はみなさんの回りで様々な活動を行っています。ぜひ多くの方からご参加頂き、今年同様ご支援をよろしくお願い申し上げます。

野球連盟新役員紹介

小須戸町野球連盟の総会が十一月二十五日、商工会館で行われ次の方が平成三・四年度の役員に選ばれました。頑張ってください。

入門教室

会長 川瀬 弘 (本町一)
副会長 齊藤 武志 (新栄町五)
古木 堅作 (花園町二)
会計 高橋 勲 (大川前)
監査 渡辺 安喜雄 (蔵町二)
藤田 仙典 (本町二)

Xmasと誕生会用の

「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

リングブル

◆Xmasと誕生会用の「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

Xmasダンスパーティー

期日 十二月二十二日(土)
午後七時より
会場 中央公民館三階ホール
会費 一人五百円

Xmasと誕生会用の

「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

リングブル

◆Xmasと誕生会用の「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

Xmasダンスパーティー

期日 十二月二十二日(土)
午後七時より
会場 中央公民館三階ホール
会費 一人五百円

Xmasと誕生会用の

「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

備し物

表彰 各部門毎に三位までメダルを六位まで賞状を授与。参加者全員に参加賞、完走記録証を進呈します。
申込み 中央公民館へ。

ふくろう講座

「名言に生かされて」(三)
期日 一月十一日(金)
午後七時三十分より
会場 中央公民館二階会議室
お話し 松尾邦典さん(本町二)

Xmasと誕生会用の

「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

リングブル

◆Xmasと誕生会用の「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

Xmasダンスパーティー

期日 十二月二十二日(土)
午後七時より
会場 中央公民館三階ホール
会費 一人五百円

Xmasと誕生会用の

「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

リングブル

◆Xmasと誕生会用の「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

Xmasダンスパーティー

期日 十二月二十二日(土)
午後七時より
会場 中央公民館三階ホール
会費 一人五百円

Xmasと誕生会用の

「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。



期日 一月一日(火) 午前九時
受付開始(中央公民館一階)
種目 三kmの部・五kmの部
参加資格 小学生以上(小学一年・三年生は保護者伴走)
参加料 一人二百円(傷害保険)

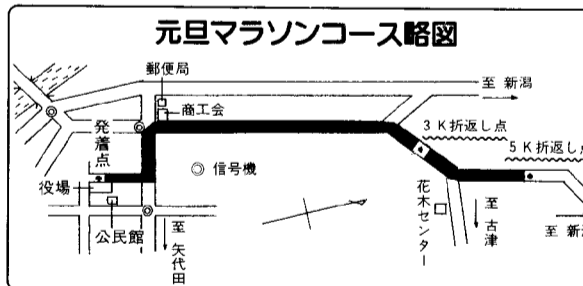
ふくろと散歩 (44)

即身仏伝説が残る地蔵尊

うでこきから新津市梅ノ木の県道右側に地蔵尊が祭られている。この地蔵尊には次のような伝説が残されている。
遠い昔、雑草が生い茂って人の無い場所。いつしか老人が小屋を立てて住むようになった。老人は身内もなく一人身で朝夕鐘を打って一日米とごまを三粒づつと水を飲んで断食同様に暮らしていた。村人は老人に話しかけたりもしたが念仏を唱へ一切耳をかかさなかった。二月月位たつたある日、小須戸の加藤藤八という人が老人の前の松の木に



当時のお金にすれば相当の額であったらしい。
即身仏伝説として今に残るこの話を聞き、地蔵尊に行ってみる。アスファルトや田に囲いは変わり、伝説の話には程遠い雰囲気である。老人は何を思い、あるいは何を願って即身仏となつたのか。地蔵尊を前にそう思わずにはいられない。



元旦マラソンコース略図

郵便局、商工会、新津、新潟、3K折返し点、5K折返し点、古津、新津、花水センター、公民館、信号機、至矢代田

表彰

各部門毎に三位までメダルを六位まで賞状を授与。参加者全員に参加賞、完走記録証を進呈します。
申込み 中央公民館へ。

ふくろう講座

「名言に生かされて」(三)
期日 一月十一日(金)
午後七時三十分より
会場 中央公民館二階会議室
お話し 松尾邦典さん(本町二)

Xmasと誕生会用の

「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

リングブル

◆Xmasと誕生会用の「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

Xmasダンスパーティー

期日 十二月二十二日(土)
午後七時より
会場 中央公民館三階ホール
会費 一人五百円

Xmasと誕生会用の

「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

リングブル

◆Xmasと誕生会用の「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

Xmasダンスパーティー

期日 十二月二十二日(土)
午後七時より
会場 中央公民館三階ホール
会費 一人五百円

Xmasと誕生会用の

「フラワーキャンドル」講習会
楽しく花を生けましょう。

小須戸川柳会

七ルスマン靴に秘めた飯の種
停退に古い靴をいとほし
すねかじり終えて孝行靴下げ
愛妻弁当靴の中に二度の職
妻の愚痴たっぷり詰めて旅に出る
言いつを鶴呑みに戻る空靴
日本の靴あて込み成田着
孫の待つ旅の土産の鈴靴
若き日の思い出つまるこの靴
人生のドラマを秘めた古靴
この靴持った頃は反抗期
唄いたくバックから出す歌詞カード
妥協したおしゃれに似合う靴
ボシエット母も娘も肩にかけ
一年生靴が背なで躍り出し
旅馴れた男かばんは持たぬ主義
吉田みな

短歌クラブ作品

小春日の薄日背に受け庭隅に自分ながらの雪
困る
鳥海山を登る途中の斜面には咲き残りおり
の白花
嬉しげに両手重ねし幼子の開けば中に空輝一
つ
久々に夫とこたつをかこみ居て語らうなきも
心なごめり
暮るるにはいまだに早き山峡の靍やく煙夕を
誘いぬ
大森美恵子

十一月例会作品

小須戸町俳句同好会
推の実を猿に渡して見ず知らず
来ては早や帰ることなど秋の暮
刈込みし芝生をひくく秋の蝶
芭蕉忌やうす茶の香り懐かしむ
塾生の靴きまぎまに秋灯し
寝るだけの階きまして十三夜
客去りて気疲れ多し赤まんま
深みゆく秋や見舞に未だ行かず
芭蕉忌や佐渡にいちにち根なし雲
ぞろぞろと落葉が通る風の市
十月の寺町歩むあすなろう
嗚みほぐす筆の穂光や桃青忌
吉田素糸
五十嵐香月
名古屋登野
小林富沙子
佐久間久子
田中美根子
吉田ミナ
中野太浪
間島秀穂
丸山虚秋
内山越楼
間野良遊
藤田悦子
藤井 春
中野敏子
牧野信雄
松沢キヨ
山崎しず枝

俳句教室

小春日や老の愚痴聴く診察医
風がまた寄せる落葉をもてあそぶ
秋衾に包まれひろめ膝につく
掃き寄せし枯葉根元へ戻しけり
バス停が寺の門前掃落葉
家庭園二人に余る冬野菜
山崎しず枝